

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 7 年度第 1 回弘前市スポーツ推進審議会
開 催 年 月 日	令和 7 年 10 月 23 日（木）
開 始 ・ 終 了 時 刻	10 時 00 分 から 12 時 00 分まで
開 催 場 所	弘前市役所市民防災館 3 階 防災会議室
議 長 等 の 氏 名	【議長（会長）】 田澤 昭次郎 公益財団法人弘前市スポーツ協会副会長
出 席 者	【学識経験者】 田澤 昭次郎 公益財団法人弘前市スポーツ協会副会長 矢本 諭佳子 弘前市スポーツ少年団監事 石鉢 康範 東奥日報社弘前支社長 渡邊 智 陸奥新報社取締役販売事業局長 戸沼 宏美 青森県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 中嶋 実樹 青森県障害者スポーツ協会理事 對馬 大成 弘前大学教育学部附属特別支援学校教諭 【関係行政機関】 小笠原 恭史 弘前市立第三中学校長 沢田 明伸 弘前市立城東小学校長
欠 席 者	井澤 隆昭 弘前市スポーツ推進委員会会長
事 務 局 職 員 の 名 氏	堀子 義人 健康こども部スポーツ局長 若松 義人 健康こども部スポーツ振興課長 葛西 弘典 健康こども部スポーツ振興課係長 谷澤 愛美 健康こども部スポーツ振興課主事 川村 拡 健康こども部スポーツ振興課主事
会 議 の 議 題	・ 第 2 期弘前市スポーツ推進計画の事業実績及び中間評価について ・ 令和 8 年度補助金交付計画について ・ 次期弘前市総合計画策定に向けた意見交換
会 議 結 果	事務局案で委員の承認を得た
会 議 資 料 の 名 称	・ 第 2 期弘前市スポーツ推進計画各事業の令和 6 年度実績等 ・ 第 2 期弘前市スポーツ推進計画数値目標及び中間評価 ・ 令和 8 年度補助金交付計画 ・ スポーツ活動の現状と課題、現在の取組について

<p>会 議 内 容</p> <p>( 発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等 )</p>	<p>(会議内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 会議</li> <li>4 閉会</li> </ol> <p>《 1 開会 》</p> <p>《 2 会長あいさつ 》</p> <p>《 3 会議 》</p> <p>会 長：本日の議題は「第2期弘前市スポーツ推進計画の事業実績及び中間評価について」、「令和8年度補助金交付計画について」及び「次期弘前市総合計画策定に向けた意見交換」です。</p> <p>まず、「第2期弘前市スポーツ推進計画の事業実績及び中間評価について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局：令和6年度の事業実績及び中間評価について説明。</p> <p>会 長：ただ今の説明に対してご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>委 員：数値目標の中間評価が大いに評価できるとあったが、子どもたち世代の中ではスポーツ活動が広がっているという実感はない。部活動の入部率も下がっている。子どもたちがどのくらい運動をしているかというのは部活動の参加率を調べても分からないと思うが、クラブチームで運動している子の数も増えているという実感はあまりない。</p> <p>部活動アシスタント、指導員は全く足りていない。地域のボランティアもなかなか集まらない。お金をかけないで来てもらうというのは限界にきている。先生もやらなくて済むのであればやりたくないという人が7割程度いる。弘前市がスポーツの裾野を広げていくためには、しっかり予算をかけて部活動アシスタント、指導員を増やしていく必要がある。</p> <p>また、弘前地区では大会開催時の会場確保が難しく</p>
---	--

	<p>なっている。市民体育館や岩木山総合公園の体育館は冷房がないため、夏場の使用は厳しくなっている。岩木山総合公園は県大会レベルでも駐車場が満車になる。全く駐車場が足りていない。スポーツの裾野を広げていこうということには大いに賛成だが、運動公園も駐車場が足りていないという中で、受け皿が限界を迎えてきているのではと感じている。</p> <p>最後に、水泳の県大会は弘前ではできないため鱒ヶ沢で行っている。大会ができるプールは弘前にない。競技施設の偏りという点では、水泳競技のプールは大きな課題ではないか。</p> <p>事務局：部活動アシスタントが足りていないということに関しては、教育委員会が事務局となっている部活動改革の検討委員会の中でも話題になっている。今後は検討委員会の場で、審議会に出たご意見を伝えていきたい。</p> <p>体育施設は老朽化も進んでおり、利用者の方々に大変ご不便をかけている。プールに関しては、新たに整備するというのはなかなか難しいが、施設全体の中で引き続き検討していきたい。</p> <p>事務局：駐車場を広げるのはすぐには難しい話であり、全施設に冷房を入れるというのもなかなか難しい。しかし、昨今は寒暖差も非常に大きくなっていること、車で来る方も以前よりも増えていることは承知しているため、貴重な意見として承り、今後の施設の整備に活用させていただく。</p> <p>委員：部活動の移行の動きもある中で、スポーツをする体制がまだまだ整っていないと実感している。そのような中では、学校体育の授業の充実というのが一番重要なのではないかと感じているところだが、教育委員会との連携という点で今実際にどのようなことをやっているのか、また今後考えているものがあったら教えていただきたい。</p> <p>事務局：学校部活動に関する教育委員会との連携は、現時点では特に行っていない。学校の授業とは離れるが、PTA活動の中では、市のスポーツ指導員が派遣依頼を受け</p>
--	---

	<p>て親子レク等で直接学校に出向き、楽しく体を動かす等の教室を行っている。</p> <p>委員：小学校の場合は、教科体育の中で運動のノウハウと楽しさを味わわせるのが一番大事だと考えている。学校教育の中で教科体育を通して生涯スポーツに親しみ、体験させることで、健康都市弘前を実現させていくのが大事だと思っている。しかし、小学校の場合は中学校、高校と違い、体育を専門に授業する教員がいないため、教員以外の外部の指導者がアシスタントとして入ってくれるのが望ましい。特に水泳とスキーは教員不足である。</p> <p>スキーは道具の用意に費用がかかるため、保護者の理解が得られにくい。購入しなくてもすむように、レンタルなどして6年間学校の体育で使えるようにできないか。指導者に関しても、地域や公民館と連携し、ボランティアで指導してくれる学校もあるが、そのようなことができる学校は少ない。</p> <p>学校の場合は生涯スポーツに触れさせたいが人が足りていない。競技スポーツだけに目を向けていけば裾野が広がっていかない。運動する子はするが、しない子は全くしないといった二極化している。体育は1週間に2回、2、3時限程度あるため、その時間を充実させるのが先決かと思っている。そこに対する市の考えはないか。</p> <p>最後に、スキー教室の際は百沢スキー場やロマンTOPIAスキー場に集中し受け入れが厳しい状況になっているため、使いやすいように検討してほしい。</p> <p>事務局：スキー教室に関しては市外からも問い合わせがある状況。混雑緩和のために既存の休憩所以外にもプレハブを増設して対応しているが、来る方全員に対応できていないのは承知している。受け入れる人数等については、年間の調整の中で検討していきたい。</p> <p>事務局：今まで体育の授業以外の部分でどのようにスポーツ振興をしていくかということを考えていた。学校では毎週確実に体育の授業があるということなので、授業の中でバックアップできる部分がないか教育委員会と</p>
--	--

	<p>も話をしたい。</p> <p>会 長：そのほかに何かありませんか。ないようですので、「第2期弘前市スポーツ推進計画の事業実績及び中間評価」についてご異議ございませんか。</p> <p>(委員より異議なしの声あり)</p> <p>会 長：それでは、原案は適正であると認め、市長に建議します。</p> <p>会 長：次に、議題2「令和8年度補助金交付計画について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局：令和8年度補助金交付計画について説明。</p> <p>会 長：ただ今の説明について、ご意見・ご質問等はありませんか。</p> <p>委 員：課題として小学校の体育の授業に外部の指導者をとという話があった。教育委員会との連携が必要になると思うが、可能であれば追加してほしい。</p> <p>継続事業ばかりで新規事業がないが、新しい事業は現時点では考えていないということか。</p> <p>事務局：体育への外部指導者の活用に関しては、教育委員会に確認しながら可能性を判断していく。</p> <p>来年度は継続事業を前提に進めていくが、今後はスクラップアンドビルドしながら新規事業を検討していきたい。</p> <p>会 長：新規事業がないと何も変わっていかないため、今後整理していくと新しい風が吹いていくと思う。</p> <p>委 員：全国大会を取りやめる競技が増えている中で大会派遣の補助金が継続、同額でよいのか。また、合宿誘致補助金について、今後も継続してソフトボールなのか。陸上の人口は増えてきているため、他の誘致があってもいいのではないか。</p>
--	---

	<p>委員：陸上競技協会は高齢化が問題となっており、大会運営が厳しい状況にあるため、その点も考えてもらいたい。</p> <p>会長：次回は継続でも内容を変えるなど検討してほしい。外部指導者に関する補助金については、教育委員会と協議していただきたい。</p> <p>会長：そのほかに何かありませんか。ないようですので、「令和8年度補助金交付計画」について、ご異議ございませんか。</p> <p>（委員より意義なしの声あり）</p> <p>会長：それでは、原案は適正であると認め、市長に建議します。</p> <p>会長：次に、今回の諮問事項ではありませんが、議題3「次期弘前市総合計画策定に向けた意見交換」について事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局：次期弘前市総合計画策定に向けた意見交換の目的等について説明。</p> <p>委員：スポーツをする市民の割合は50代、60代が多く、子育て世代が低くなっていると感じている。競技スポーツ以外でスポレク祭のように小さい場所でも行えるような、親子で参加できるイベントを単発ではなく定期的に開催することで、親世代も参加できる。</p> <p>委員：ニーズ調査として、どのようなスポーツをやりたいかということもアンケートでとってもらいたい。アンケートにある保護者が感じている一番の負担は送迎に関することかと思うので、その対策を検討してもらいたい。</p> <p>委員：小児肥満が増えている昨今、将来の大人である16歳未満はアンケート対象として必要ないか。健康寿命の延伸のためにスポーツをとした場合、指標が現状</p>
--	--

	<p>の２点でよい。向かう目標に応じて指標を増やすなど検討してほしい。</p> <p>委員：弘前は生涯スポーツが盛んだと思っている。地区ごとに体育協会があるというのは他の地域ではあまり聞かない。それらの組織を活用することで指導者など人材の確保につながっていくのではない。また、地域のスポーツチームを育てて観戦し応援していくということが新たな文化として育ち始めているという点を新たなスポーツの面として捉えていく必要がある。</p> <p>会長：そろそろ時間となりますので、議題３の意見交換を終了します。</p> <p>会長：そのほか事務局から何かありますか。</p> <p>事務局：今後のスケジュールについて説明。</p> <p>会長：他に無いようですので、これをもちまして、本日の会議を閉会し、進行を事務局へお返しいたします。</p> <p>《 ４ 閉会 》</p>
その他必要事項	会議は公開